# PRESS KIT.

## SREKaigi2027

### ロゴを、正しく、美しく使うために。

ロゴ素材 / カラー / クリアスペース / 使用例



# Logo system

年号入りの組み合わせを基本に、用途に合わせて選ぶ。




**01 HORIZONTAL / 横組み・2027 入り**

Web、記事、登壇スライド、横長スペースの基本形。




**02 VERTICAL**

縦組み・2027 入り



**03 SYMBOL**

シンボル

**選び方**

初出・報道では 2027 入りを使用。シンボル単体は、近くにイベント名と年が明記される場合に使用します。
文字の打ち直しや再配置はせず、配布データをそのまま配置してください。

# Color palette

5 色の支給パレット。画面は HEX / RGB、印刷は指定 CMYK を使用。

01

## ORANGE

**#FD7E00**

RGB 253 / 126 / 0

CMYK 0 / 65 / 90 / 0

**メインカラー**

02

## BLUE

**#00A8FF**

RGB 0 / 168 / 255

CMYK 100 / 34 / 0 / 0

**サポートカラー**

03

## ROSE

**#C45878**

RGB 196 / 88 / 120

CMYK 0 / 55 / 39 / 23

**サポートカラー**

04

## CYAN

**#00E8EA**

RGB 0 / 232 / 234

CMYK 100 / 1 / 0 / 8

**サポートカラー**

05

## CREAM

**#FFE7B0**

RGB 255 / 231 / 176

CMYK 0 / 9 / 31 / 8

**サポートカラー**

**色指定の扱い**

RGB と CMYK は別指定です。自動変換で置き換えず、印刷は用紙・ICC プロファイルに応じて校正します。

# Logo colors & backgrounds

ロゴはオレンジ・白・黒の単色。サポートカラーは背景や装飾に使用。




**OK 基本：オレンジ × 白**




**OK 基本：白 × オレンジ**




**OK 反転：白 × 黒**




**OK 背景：黒 × クリーム**




**OK 背景：黒 × ブルー**



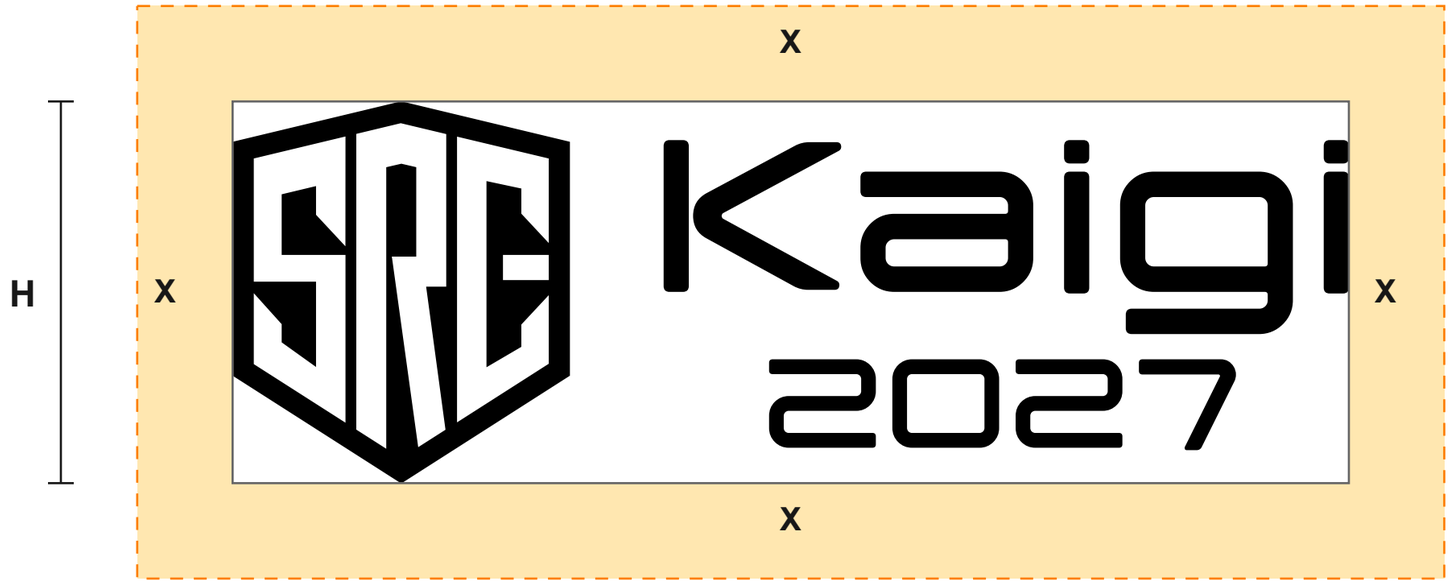

**OK 背景：黒 × シアン**

黒：#000000 / K100　白：#FFFFFF / CMYK 0・0・0・0（紙白）

ローズ背景では黒を使用。写真は無地のロゴ用パネルを設けます。小さな表示や細部が読みにくい場面は黒／白を優先。

# Clear space

シンボル部分の高さを H とし、上下左右に X = H / 4 以上の余白を確保。




## X = H / 4

H はロゴ全体の高さではなく、
SRE シンボル部分の高さです。

文字、写真の境界、他社ロゴ、
裁断線をこの領域に入れません。

縦組み・シンボル単体も同じ基準。
余白は四方向それぞれに必要です。

### 例：H = 80 px → X = 20 px

配布 PNG・SVG にはこの余白を含めています。透明部分をトリミングせず、配置先でも同じ余白を維持してください。

# Minimum size

配布データの余白を除く、見えているロゴ自体の幅で測定。

| LOGO | | DIGITAL / 幅 | PRINT / 幅 |
|---|---|---|---|
|  | 横組み・2027 入り | 160 px | 40 mm |
|  | 縦組み・2027 入り | 96 px | 24 mm |
|  | シンボル単体 | 32 px | 8 mm |

**提案する運用下限**

図は実寸ではありません。表示 100% ／印刷原寸で「2027」と細線を確認し、潰れる場合は拡大。
刺繍・箔押し・低解像度印刷は、加工業者による再現テストを優先してください。

# Misuse / Form

NG：比率・角度・形状・構成を変えない。

NG 01



横方向・縦方向に引き伸ばす

NG 02



回転・傾斜・鏡像にする

NG 03



ロゴと年号を別々に動かす

NG 04



輪郭線や影などの効果を加える

# Misuse / color

NG：識別しづらい配色、背景、余白不足を避ける。

NG 05



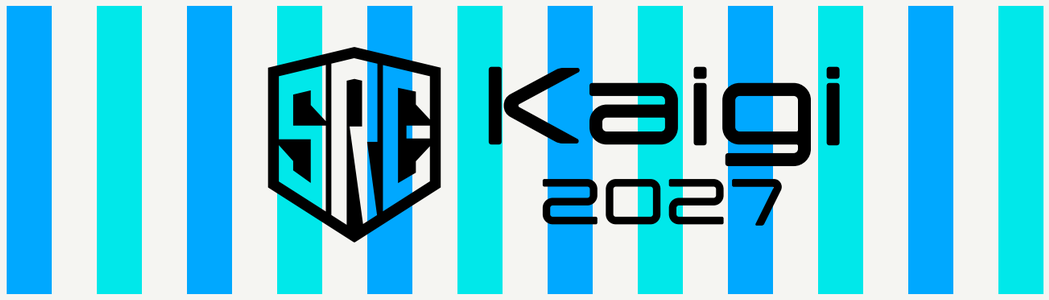

**指定外の色・複数色に変える**

NG 06




**背景とロゴの明度を近づける**

NG 07




**模様や写真の上に直接重ねる**

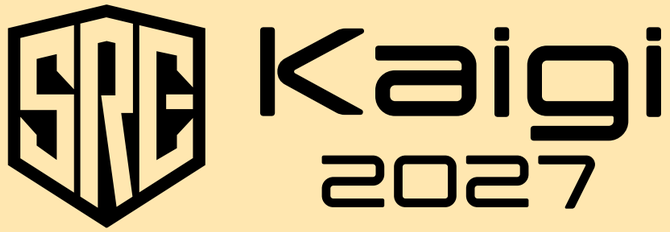
NG 08




**クリアスペースへ文字を侵入させる**

# Co-branding

他社ロゴとは独立させ、関係性が誤解されないように配置。




PARTNER

相手先ロゴの配置領域

**OK 両方の規定余白を維持し、間に十分な空間を設ける。**

## 01 関係性を言葉で示す

「スポンサー」「協力」など事実に合う表記を添える。
契約・告知内容と一致する場合にのみ使用します。

## 02 一体化したロゴを作らない

ロゴ同士を接続したり、新しい組み合わせとして
固定しない。相手側のブランド規定も守ります。

**基本の考え方**

記事・報道・登壇資料は、その媒体の情報構成を優先。
イベントによる公認・推奨や、公式アカウントと誤認させる表示を避けてください。